

SAGAMI Girls

見つけよう、私。
はじめよう、未来。

令和6年度入学 学校案内
School Guide 2024



相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

変動を続ける時代の中で、 「私の未来」を発見し、 思い描く道を歩き始めるために

これから始まろうとする高校生活。

勉強、部活動、学校行事、自主的な活動……

それぞれに全力で取り組むことで、

まだ気づけていない自分の可能性を発見してほしい。

大きな変化、未曾有の事態にあっても

自分らしく対応できる指針を手にしてほしい。

そのための環境を準備し、寄り添いながら、

未来を探るあなたの大切な3年間で全力でサポートします。

ようこそ、相模女子大学高等部へ。



好奇心・探究心を胸に

高等部校長
武石 輝久



変化し続ける社会の中で、学校の存在価値、役割も大きく変わろうとしています。学校全体が多様性を尊重し、安心・安全、信頼関係に溢れた「安全圏」になり、そこをベースとして、生徒たちには思い切って成長のために必要な領域に出て行く冒険をして欲しいと思います。

その過程には、困難、葛藤、失敗が満ちているかもしれませんが、しかし、本校で大切にしているのは「成果」ではなく「成長」。チャレンジも失敗もない成長などありません。お互いの失敗を認め合い、好奇心、探究心を胸に、未来に訪れるさまざまなライフステージのベースとなる「研鑽力・発想力・協働力」を相模女子で培いましょう。

四季を体感できる、 緑豊かなキャンパス

学園に一步足を踏み入ると広がる、緑豊かな環境。

相模女子大学が擁する幼稚部から大学院までの

学舎が点在するこのキャンパスには、

ゆったりと穏やかな時間が流れています。

東京ドーム4つ分の広大な敷地に、

樹齢70年を超える銀杏並木や200メートルに及ぶ桜並木、

ビオトープ、学習用の農園や稲田などが、

多くの野鳥が生息しており、鳥獣保護区に指定されています。

また、グラウンドや芝生の広場など、

思いきり身体を動かせるスペースや施設も充実しています。



本校舎

中世ヨーロッパのロマネスク建築を思わせる本校舎は、周囲の自然とも調和したデザイン。伝統校としての気品を漂わせています。



教室

木目調で統一された、明るく広々とした教室。電子黒板、タブレット端末やWi-FiなどICT環境も整っています。全室に冷暖房を完備しています。



図書館

開放的な空間に、約4万冊の幅広い分野の蔵書が並んでいます。このほか、大学附属図書館も利用できます。



図書館棟ホール

約400名を収容できる多目的空間。授業や学年集会、部活動の発表など、さまざまな行事で使用しています。



和室

52畳の本格的な和室。床の間には掛け軸や季節の生花が飾られた、落ち着いた空間です。



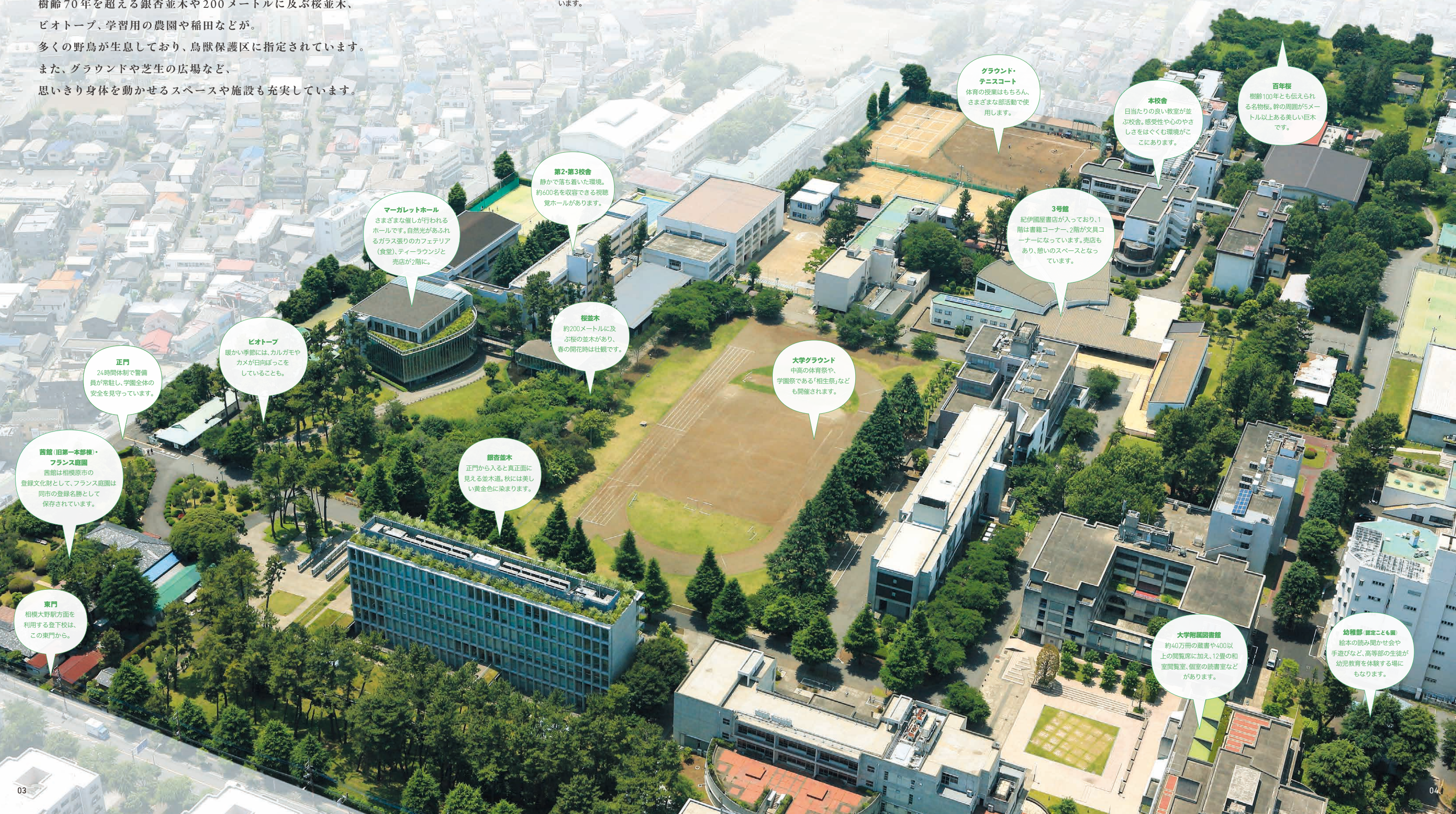
陶芸室

美術の授業では陶芸にも取り組みます。ろくろを使って製作した作品を、教員が大型窯でていねいに焼き上げます。



ALセンター

放課後学習サポートプログラム「まなlab」(p.09)で使用する自習室。広々としたスペースで、集中して学習できます。



グラウンド・テニスコート

体育の授業はもちろん、さまざまな部活動で使われます。

本校舎

日当たりの良い教室が並ぶ校舎。感受性や心のやさしさをはぐくむ環境がここにあります。

百年桜

樹齢100年とも伝えられる名物桜。幹の周囲が5メートル以上ある美しい巨木です。

3号館

紀伊國屋書店が入っており、1階は書籍コーナー、2階が文具コーナーになっています。売店もあり、憩いのスペースとなっています。

第2・第3校舎

静かで落ち着いた環境。約600名を収容できる視聴覚ホールがあります。

マーガレットホール

さまざまな催しが行われるホールです。自然光があふれるガラス張りのカフェテリア(食堂)、ティールウンジと売店が2階に。

桜並木

約200メートルに及ぶ桜の並木があり、春の開花時は壮観です。

大学グラウンド

中高の体育祭や、学園祭である「相生祭」なども開催されます。

銀杏並木

正門から入ると真正面に見える並木道。秋には美しい黄金色に染まります。

ビオトープ

暖かい季節には、カルガモやカメが日向ぼっこをしていることも。

正門

24時間体制で警備員が常駐し、学園全体の安全を見守っています。

舊館(旧第一本部棟)・フランス庭園

舊館は相模原市の登録文化財として、フランス庭園は同市の登録名勝として保存されています。

東門

相模大野駅方面を利用する登下校は、この東門から。

幼稚部(認定こども園)

絵本の読み聞かせ会や手遊びなど、高等部の生徒が幼児教育を体験する場にもなります。

大学附属図書館

約40万冊の蔵書や400以上の閲覧席に加え、12畳の和室閲覧室、個室の読書室などがあります。



自分を知って夢をはぐくみ
目指す未来へと向かう、
そのために必要な
「確かな学力」を身につける

知識を身につけるだけではなく、
好奇心をもって自分なりに発想し、行動する。
仲間と意見を交わし、社会との関わりも広げていく……
その総合力こそが「確かな学力」。
しっかりと身につけられる環境がここにあります。



創立120周年を迎えた相模女子大学を中心とした総合学園の
広々とした環境の中、高等部もまた女子校としての歴史を重ねてき
ました。しかし、「理想の女性像」という枠に生徒をはめたいとは考
えていません。女子校ならではの教育環境を生かしつつ、一人ひと
りが自分を知り、かけがえのない未来を模索できる。そんな学校生
活を、生徒と教師がともに目指します。

コミュニケーションを大切に、のびのびと切磋琢磨できる

学業への地道な取り組みによって知識を身につけるだけではあり
ません。互いに認め合いながら協力してアイデアを生み出し、努力
と工夫で形にしていく……。コツコツと自分の歩幅で目標に向かい
邁進することも、異なる文化や価値観に触れて視野を広げる機会を
持つことも、教育において重要であると考えています。

生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを重視するのも特徴
のひとつ。互いを励まし合いながら、それぞれに進んでいく生徒を
応援します。誰もが安心できる場所、生き生きと活動できる環境と
しての相模女子大学高等部を、守っていきたいと考えています。



“サガジョらしさ”
は
さまざまに

協力して
アイデアを生み出す

みんなで取り組み、
個性を活かして創りあげる
文化祭、体育祭、
球技大会など

異なる価値観を大切に、
互いに尊重し交流する

さまざまな課外活動、部活動、
ボランティア活動など

地道に取り組む

日々の学習や活動を
積み重ねた上での
各種検定・コンテストへの
参加など



相模女子高等部の
スクールポリシーは
こちら

5つの柱で支える 相模女子の教育

豊かで奥行きのある教育を実現するために相模女子が築き上げてきた具体的な方策。生徒の一人ひとりが主役として取り組めるコースやプログラムが待っています。



1

・コースの選択・

一人ひとりの自己実現を支援する 4つの進路系統別コース

広い学びを通して社会に対する視野が広がれば、
将来のビジョンは変化していきます。
そこで、従来の「進学」「特進」の2コースを進化・発展させました。
「進路系統に応じた探究的な学び」を深められる4コースは、2年次から選択が可能です。
学校は、生徒の自己実現を全力で支援していきます。



※各学年、進級時にコース変更が可能です(一部、成績の基準あり)。

特進

自らの進路を切り拓くために、常に挑戦する

変わりゆく大学入試に対応した学力を身に付け、自分の可能性を信じて国公立や難関私立の大学に挑戦したい生徒に適したコースです。より高い目標に向かい、全力で突き進みます。

アカデミック(文系・理系)

文理融合型学間にも対応
難関校への道を拓く

国公立大受験をメインに、難関私大受験にも対応。現代社会の課題を広い視野から捉える目を養います。文理融合型の学間にも対応できるように、5教科を中心にバランスよく学びます。難関私立大学志望者には、3教科中心の履修も考慮。



岸垣さん

医学部志望、共通テスト対策も万全にできそうです！



深瀬さん

英語でのコミュニケーション力を高めたいです！



五月女さん

スポーツ医療・栄養分野へ向かう準備をします！



菱田さん

幅広い興味の中、まずは苦手科目克服が目標です！

進学

目標に向かって、安心してじっくり学ぶ

自分らしく充実した学校生活を送り、自信を持って大学進学に臨みたい生徒に適したコースです。多種多様な大学入試形態の中から自分に合ったものを選択し、じっくりと向き合っていきます。

ライフサイエンス

医療、栄養、環境……
理系分野に重点を

従来から志望者の多い医療系・栄養系に加え、農学、環境、メディアなど教科横断的な視点を養いたい生徒にも適したコース。本大学や他学と連携した理系分野の探究活動を通して、広い視野でものを科学的に考える力を養います。

リベラルアーツ

幅広く学びながら
じっくりと進路を模索

私立大学文系を中心に、教育、芸術、体育など多様な進路を想定したコースです。本大学や地域、企業と連携した探究活動に取り組むことで、将来の進路や自分の生き方を模索します。生涯にわたって主体的に学び続ける力や姿勢を養います。

4つのコース、異なるポイント

	アカデミック(文・理)	グローバル	ライフサイエンス	リベラルアーツ
相模女子大学への推薦、確約併願	○	○	○	○
指定校推薦	×	×	○	○
学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜	○	○	○	○
海外研修、ターム留学等	○	○	○	○
部活動	○	○	○	○
プログレス選択科目(3年次)	×	◎	◎	◎
夏期・冬期・春期講習	◎	◎	○	○
学内予備校	○	○	○	○

◎：必修
○：希望者対象
×：なし



4つのコース、
カリキュラムは
こちら

2

・学習のサポート・

「意欲」を刺激しつつ学力を伸ばす、 確かなサポート体制

生徒の適性や目標に合わせて選ぶことができる、
さまざまな学習サポートを行っています。

日々の授業を補完することはもちろん、多様化する大学入試への対応も
視野に入れたサポート体制を整えています。

「受験のプロ」による実践的サポート

- ・学内予備校

大学受験に向けて、より実践的な対策を。そんな生徒の要望に応えるべく、予備校での指導経験が豊富な「受験のプロ」を招いて講座を実施しています。英語の学力アップに重点を置きながら、今年度からは3年生対象の5講座に加えて2年生対象の1講座も新たに開講。また、英検対策の短期集中講座も。通常の授業とは違う環境に身を置いての入試対策を、より充実させています。

[高2対象講座]

共通テスト対策英語

[高3対象講座]

大学入試対策現代文(評論文)

大学入試対策ハイレベル英語

大学入試対策英語

大学入試対策数学ⅠAⅡB

看護医療系小論文

[短期集中講座]

英検対策(5日間)

※開講講座は変更されることがあります。

各自に合った放課後の学び

- ・放課後学習サポートプログラム

常駐の専属サポーターが放課後の時間制作成や勉強の仕方をアドバイスし、チューターが個別指導をするシステム「まなLab(マナラボ)」。

苦手箇所の把握、克服カリキュラムの作成なども行います。

仲間と一緒に集中して取り組む

- ・特別講習

夏季・冬季・春季の長期休業中に実施する、主要5教科に焦点を絞った集中講習です。基本に立ち返っての苦手科目の克服から受験対策としての入試問題チャレンジまで。仲間とともに切磋琢磨します。
- ・勉強合宿

高1特進コースの生徒が、学校を離れて静かな環境で集中して学習に取り組みます。国語・数学・英語の3教科の学習はもちろん、仲間と切磋琢磨して勉強漬けの4日間を乗り越えた経験が大きな自信となります。(高2・高3の希望者も参加可能)



受験対策の最優先科目、 「英語」を学力アップ させる講座を

石川浩久キャリア支援部長

大学受験において、どの教科の学力を伸ばすべきか、何が足りないか。英語の実力をまず高めるこ

とが有効ではないかという仮説を立て、昨年度、英検2級相当の英語力を持つ2年生約30名を対象に、2学期から英語の講座を試験的に開講しました。その後、共通テストの「英語」の問題を解いてもらったところ、かなりの成果があったのです。そこで、今年度からは2年生1学期から「共通テスト対策英語」の講座を新設することに。英語の実力をいち早く養い、それにより生まれた余裕を他教科の対策に充てて受験の可能性を広げる、という方針で進めています。



3

・学園連携プログラム・

幼稚園*から大学院までが揃う 「総合学園」ならではの特別プログラム

年齢を超えた交流を通して、社会生活に必要な
コミュニケーション能力、発想力をはぐくみます。これらの体験が
「進路選択の判断材料のひとつになった」と語る先輩も少なくありません。

*認定こども園 相模女子大学幼稚園部

大学の講義を進路選択のヒントに

- ・サガジヨの学び講座

相模女子大学の教授陣による講義を体験できる連携プログラムで、複数ある中から興味を持てる講義を選択して受講します。こうした経験を卒業後の進路を考えるための一助としてもらいたい。そんな狙いもある取り組みです。

園児とともに過ごすという貴重な経験

- ・預かり保育ボランティア

保育士や幼稚園教諭を目指す生徒を中心に、放課後の時間を利用して預かり保育のお手伝いをしています。幼稚園教諭の指導のもと、教育現場を体験できる貴重な機会。繰り返し参加することで、園児たちの成長に立ち会うこともできます。

学問の現場を訪ねて、大学生生活を覗き見る

- ・研究室訪問

大学の研究室を訪問して、専門分野や卒業論文のテーマなどについて詳しく話を聞ける機会です。学問の現場に身を置いてみることで、大学生生活の一端をイメージできます。

大学生と一緒に地域貢献

- ・地域貢献プロジェクト

福島県本宮市を訪問し、田植えを体験する貴重なプログラムです。相模女子大学の学生とともに参加し、昔ながらの日本の文化である田植えを通じて地域に貢献します。



4 文化体験

さまざまな異文化交流を経験し、視野を広げていく

将来の夢や進路を模索する高校生活は、さまざまな文化や価値観に触れることで幅広い視野を身につける重要な場。異文化交流から多様性を知ることで、グローバル社会に対応できる力をはぐくみます。さらに、コミュニケーションツールとしての英語を集中して身につけるためのプログラムも用意しています。(研修・留学は希望者対象)

異文化に触れて多様性を知る

海外留学生受け入れ制度

国際交流団体を通じて留学生を受け入れています。異なる国で育った生徒たちが毎日の学校生活をともにすることで、互いの習慣や文化への理解を深めます。



オーストラリア研修

夏季休業中に、西オーストラリア州パースにある中等学校に通う2週間のプログラム。同校生徒宅にホームステイをしながら、生きた英語や雄大な自然を体験します。課外活動では、現地の大学生とも交流します。



カナダ研修

夏季休業中に、ブリティッシュコロンビア州ビクトリアでホームステイをしながら語学学校に通う13日間のプログラム。アクティビティではカナダを満喫、勉強と課外活動のバランスが取れた充実の語学研修です。



マレーシア研修

夏季休業中に、ウーロンゴン大学*クアラルンプールキャンパスにて多文化に触れ、キャンパスライフを楽しむ約10日間のプログラム。大学寮に滞在、授業や食事など生活のすべてをキャンパス内で体験します。現地家庭への一泊ホームステイ体験もあり。
*オーストラリア国内外にキャンパスを持つ公立の総合大学。

セブ島語学研修

12月中の1週間、フィリピン・セブ島にある語学学校に通うプログラムです。併設の寮に滞在し、生徒のレベルに合わせたマンツーマンレッスンで英語漬けに。アイランドホッピングツアーなど、島ならではのアクティビティも。

ニュージーランド ターム(学期)留学

1月下旬から3月末の9週間(1学期)、ホームステイしながら現地の高校に通います。現地は夏。課外活動も含め、多様性を尊重した学校生活を体験します。



英語力アップはもちろん 自立心を養えたこと、 友だちができたことも成果です



高等部3年
北川さん

現地の生徒たちと一緒に英語で授業を受けたい!と思ったのがいちばんの動機で、ニュージーランド ターム留学へ。小学校時代に海外でアメリカンスクールに通っていたこともあり英語は好きで、帰国後も勉強を続けていましたが、改めて英語の中で生活してみたかったです。ひとりで海外に行くのはもちろん初めてで不安でしたが、現地では積極的な行動を心がけ、自分の意志をきちんと伝えられるようになったと思います。シャイではやっていけないので(笑)。帰国後も、留学先でできた友だちと定期的に電話をしていますし、大学は年単位で留学したいと思っています。先生方が全力で応援・サポートしてくれるので、何にでも挑戦できる学校です。



5 自主性の育成・ボランティア

興味・関心と向き合うことから、知らなかった自分に気づく

どのようにして自分を社会に役立てられるかを考えて行動する、社会に役立つ喜びを体感する、自主的に考えて誰かをサポートする……。これらの活動は、今後の人生を豊かにする経験であり、知らなかった自分の志向、可能性に気づくこともできる貴重な機会です。自分を客観視することは、進路選択にも役立つことでしょう。

「自ら探究する力」を身につけ、理想の将来像へ

総合的な探究の時間

生きる力、社会で求められる力を身につけることを目指して、生徒個人で、あるいはグループでの「探究」を推し進めるカリキュラム。①課題の発見と解決に必要な知識・技術を身につける、②自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する、③主体的・協働的に取り組みながら、よりよい社会実現への態度を養う、という定義のもとで生徒たちは学年ごとに探究をステップアップさせていきます。

1年生は、まず自分の興味・関心がある対象を見つけ、そこに焦点を当てた調査や実験をしながら「探究の手法」を身につけます。「好きな食べ物」「未来のために10万円使えたとしたら?」などいわば個人的な問いを通じて自らと向き合い、視点を変えて見ることも学びます。その後、グループ単位で、課題の設定→情報収集→整理・分析した後にはクラスで発表し、意見交換によってさらなるブラッシュアップを試みます。

2年生では、実生活や社会に目を向けて課題を探り、その課題を自分事として解決策を模索する探究活動を実施。アカデミック、グローバル、ライフサイエンス、リベラルアーツの各コースの特徴を活かした取り組みを行います。さらに3年生では、自分と社会の将来に目を向け、どんな社会に生きたいか、どんな道を進みたいかを考えながら探究を進めます。



SDGsの最前線に触れる新たな体験

サステナブル・ブランド国際会議

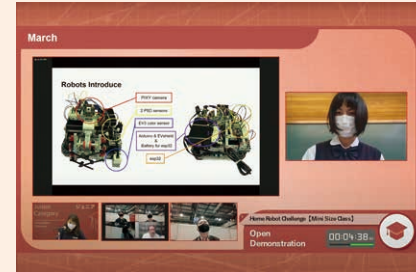
SDGsに取り組む企業の情報共有、交流の場であるサステナブル・ブランド国際会議の学生・アンバサダー全国大会に、学内募集での個人レポート、グループワークを経て選抜された精鋭チームが参加。SDGs分野で活躍する専門家や一般社会人、大学生を間近にしての新たな体験は、学校の枠を超えて視野を広げるきっかけに。問題点を抽出し、自主的に解決策を模索する姿勢を深化させる経験にもなっています。



プログラミング学習の成果、 ロボットを自作、発表

ワールドロボットサミット

世界中から集結したチームがロボットの技術やアイデアを競い、ロボットの導入事例を発信するワールドロボットサミット。2020愛知大会ジュニアカテゴリーには、高等部からプログラミングに興味を持つ有志がチーム参加。家庭環境を改善するためのロボットを自作し、発表するホームロボットチャレンジ部門で2位入賞を果たしました。



ボランティア・自主的活動への参加例

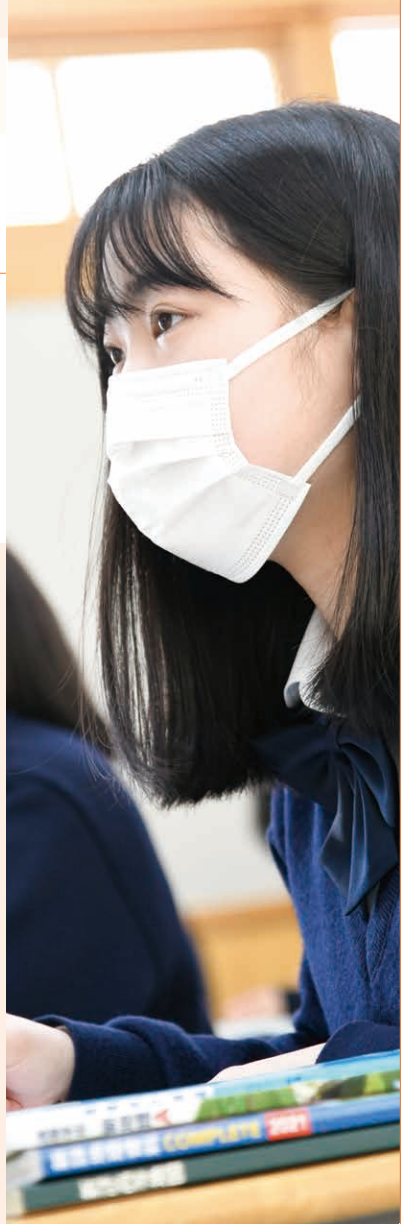
「届けよう、服のチカラ」プロジェクト／おにぎりアクション／衛星データで思考を広げるSDGsオンラインアイデアソン／ボンパドウル×相模女子大学のコラボ商品開発など

心のサポートという形で 小児医療に貢献できるか？ 探究の末、新たな課題も発見



高等部3年
秋本さん

「心を支えるもう一つの医療」をテーマに発表、探究大賞を受賞しました。将来、医療に携わる職につきたいと考えている私は、学生である今からでもできる活動はないかと考えました。医療資格がなくても、心など内面的なサポートであればできるのでは?と、特に入院を強いられる子どもたちに対してできることを探ってみました。一方で、3年間伸ばした髪がヘアドネーションできる長さには達したことから、「寄付した髪がウィッグになるまで」「ウィッグを必要とする子どもたち」などもリサーチ。発表では、ひとりでも多くの人に現状を知ってもらえたことが嬉しく、また探究を通じて新たな問いも生まれました。私の探究はさらに続きそうです。





“熱中”を見つけない！ 充実の学校生活

熱中できる何かに出合えるかどうか。
充実の高校生活を大きく左右する要素は、ここにもあります。
それぞれの役割で輝ける多彩な行事や部活動をご紹介します。



・年間行事・

自分で考え、 ともに作り上げる楽しさ

1年を通じて、生徒自らが準備・運営・振り返りを行う数々の学校行事があります。
主体的に関わる姿勢を学びながら、仲間とともに作る楽しさを実感してほしいと考えます。

4月

- ・始業式
- ・入学式



6 7 8月

- ・生徒会役員選挙
- ・修学旅行（2年生）
- ・定期試験②
- ・終業式
- ・夏期講習
- ・海外研修（希望者）
- ・勉強合宿



5月

- ・定期試験①
- ・球技大会
- ・生徒総会
- ・体育祭



9月

- ・始業式
- ・英単語コンテスト



10 11月

- ・創立記念日（10月18日）
- ・定期試験③
- ・相生祭



12月

- ・定期試験④（3年生は卒業試験）
- ・漢字コンテスト
- ・終業式
- ・冬期講習
- ・海外研修（希望者）



3月

- ・卒業式
- ・学年末試験
- ・修了式
- ・スキー教室（希望者）
- ・春期講習



仲間と過ごす、 かけがえのない時間

心身ともに打ち込める部活動。
仲間と切磋琢磨しながら過ごす放課後は、
授業とは違ったアングルから光を与え、
高校生活をより実りあるものしてくれる
かけがえのない時間となるはず。
あなたの「やりたい!」がきっと見つかります。



〔運動部〕15部

- 弓道部
県私学大会 個人4位
- サッカー部
県高校新人大会ベスト6
- 水泳部
全国大会出場
- スキー部
全国大会出場
- ソフトテニス部
県大会団体 ベスト16
- ソフトボール部
神奈川県民体育大会 ベスト8
- 体操部
全国大会出場

- チアリーディング部
全日本高等学校チアリーディング
選手権大会19位
- テニス部
県大会本戦出場
- バスケットボール部
関東大会出場
- バドミントン部
県大会 ベスト16
- バントワーリング部
全国大会 金賞
- バレーボール部
県大会 ベスト32
- モダンダンス部
県新人大会 5位
- 陸上競技部
全国大会出場(やり投げ)

〔文化部〕18部

- ESS部
学園連携イベント参加
- 演劇部
県大会 最優秀賞
- 科学部
キッズ・サマーフェスティバル参加
- 合唱部
かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト
銀賞
- 華道部
草月流免許取得、相生祭作品展示
- 軽音楽部
全国大会準グランプリ
- 弦楽部
県演奏会出場
- 茶道部
裏千家免許状取得、お茶会開催
- 写真部
JPS(日本写真家協会)展入選
- JRC部
各種ボランティア参加
- 書道部
全日本書初め大展覧会審査委員長奨励賞
- 吹奏楽部
東日本大会 金賞
- 箏曲部
福祉施設訪問演奏
- 調理部
ボンパドウルレシビコンテスト 商品化
- 美術部
全日本学生美術展 推奨、特選、佳作
- 放送部
県大会 3部門奨励賞
- 漫画研究部
部誌発行、相生祭作品展示
- 競技かるた部
県大会団体優勝、C級大会優勝

*2018年～2022年度の成績

バンド未経験で入部 オリジナル楽曲にも 取り組む、充実の放課後



高等部3年
軽音楽部長
紀谷さん

中学時代に所属していた吹奏楽部
では50人の中のひとり、バンドなら5
人の中のひとりとしてもっと目立てる
かも、という目論見から入部した軽音
楽部でしたが、バンドという指揮者が
いない編成でメンバーの息がピッタリ
と合うときの快感こそが魅力だと実
感。ガールズバンドならではの楽しさ
を満喫しています。同時に、部長とし
て取りまとめる仕事にも充実感が。私
も含めて、入部前はバンド未経験だっ
た部員がほとんどですが、それぞれに
練習、オリジナル楽曲作りに励んで学
外のコンテストにも挑んでいます。

かわいい!と誇れるブレザースタイル

制服は、伝統的なブレザースタイル。
スカートは、正装用でジャケットと揃いの紺色無地、夏用のチェック柄、
通年用のチェック柄の3種類が用意されています。
正装用の布地はさまざまな紺色の糸を紡いで織られており、品のある装いに。
また、紺色のカーディガンやベスト(紺・白)、半袖ポロシャツ(紺・白)があり、
気候に合わせたコーディネートが可能です。
校章は、マーガレットの紋様。
花言葉である「希望に満ちあふれる清楚な乙女心」をいつも胸に飾り、
大切に育てていきたいと思いますという想いが込められています。



生徒の要望を受け、
生徒会が主体となって
リュック、半袖ポロシャツ、
スラックス、ショートソックスの
導入を手がけました。



1日のスケジュール

充実の毎日を積み重ねたい

高校生活の基本的な1日の流れです。
安全性を配慮した変更を随時行います。



〔月曜日〕

SHR	8:30 ～ 8:40
1時限	8:50 ～ 9:35
2時限	9:45 ～ 10:30
3時限	10:40 ～ 11:25
4時限	11:35 ～ 12:20
昼休み	12:20 ～ 13:00
5時限	13:00 ～ 13:45
SHR	13:50 ～ 14:00

〔火～金曜日〕

SHR	8:30 ～ 8:40
1時限	8:50 ～ 9:35
2時限	9:45 ～ 10:30
3時限	10:40 ～ 11:25
4時限	11:35 ～ 12:20
昼休み	12:20 ～ 13:00
5時限	13:00 ～ 13:45
6時限	13:55 ～ 14:40
7時限	14:50 ～ 15:35
SHR	15:40 ～ 15:50

〔土曜日〕

SHR	8:30 ～ 8:40
1時限	8:50 ～ 9:35
2時限	9:45 ～ 10:30
3時限	10:40 ～ 11:25
SHR	11:30 ～ 11:40

自己発見から始まる進路選択を ていねいにサポート

本当に進みたい道を見極めるためには、得意科目や学力レベルとともに、まずは「自分を知る」こと。必要に応じて教員たちが細かくフォローし、自己発見から進路選択、そして進路実現へと導きます。



進路実現

夢に向かって、具体的な課題を解決していく

見つけた夢を叶えるために進むべき道＝進路を、頼りになる教員たちとともに詰めていきます。克服すべき課題をひとつひとつあぶり出し、必要な実践的アプローチを共有しながら受験に臨みます。

3

評価

結果

行動

新たな目標

進路選択

「こんな私だから、進むべき道はこれ!」を絞り込む

「総合的な探究の時間」も含めた学校生活での経験を、担任や部活動顧問とのコミュニケーションによって自分の進路へと落とし込んでいきます。視野を広げるための実践的・具体的な取り組みを、必要に応じて選ぶことが可能です。

2

評価

結果

行動

新たな目標

評価

結果

行動

目標

自己発見

「私ってこんな人、こうなりたい」を知る

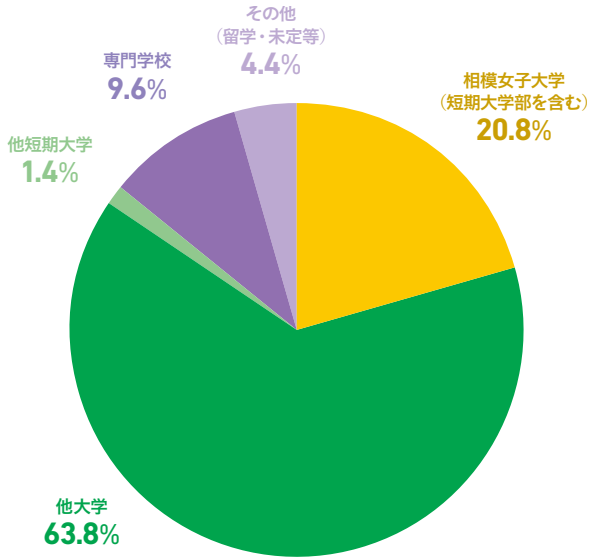
さまざまな経験を積むことからの自己発見をサポートします。「総合的な探究の時間」(p.12)は、1年生では自分の興味・関心に目を向けながら自分で課題を見出すプログラムに取り組みます。探究は自己を発見する絶好の機会であり、これは進路決定にも深く関わっていきます。自分はどのようにして問題解決を試みるのか、自分はどんなことで喜びや達成感を得られるのか……。そんな自問からも、将来目指すべき方向が明確になっていきます。

1

見つけた夢に向かって新たな一歩を

進学比率

2022年度
卒業生293名



相模女子大学への内部進学

〔内部推薦制度〕

人数に制限なく内部推薦制度を利用できます (一定の条件あり)。

〔確約併願制度〕

他大学を第1志望、相模女子大学を第2志望とする場合に利用できます (一定の条件あり)。

〔内部進学入学金免除制度〕

高等部から相模女子大学へ進学する場合、大学入学金が免除となります (30万円→0円)。内部推薦、一般選抜、大学入学共通テスト利用など、受験形態は問いません。

学芸学部

日本語日本文学科
英語文化コミュニケーション学科
子ども教育学科
メディア情報学科
生活デザイン学科

人間社会学部

社会マネジメント学科
人間心理学科

栄養科学部

健康栄養学科
管理栄養学科

短期大学部

食物栄養学科

主な大学合格者数 (2022年度実績、過年度卒業生を含む)

国公立大学

東京学芸大学	1名	専修大学	5名
お茶の水女子大学	1名	北里大学	9名
横浜国立大学	1名	杏林大学	2名
宮崎大学	1名	日本赤十字看護大学	1名
神奈川県立保健福祉大学	1名	東京医科大学	2名
都留文科大学	1名	昭和大学	1名
川崎市立看護大学	2名	国際医療福祉大学	4名
		駒沢女子大学	5名

私立大学

相模女子大学	63名	東京医療保健大学	6名
慶應義塾大学	1名	大東文化大学	2名
上智大学	1名	東海大学	8名
学習院大学	1名	亜細亜大学	4名
明治大学	2名	帝京大学	6名
青山学院大学	3名	神奈川大学	9名
立教大学	1名	玉川大学	4名
中央大学	3名	桜美林大学	13名
法政大学	8名	東京農業大学	7名
成蹊大学	7名	日本体育大学	4名
成城大学	6名	日本女子体育大学	1名
明治学院大学	3名	横浜創英大学	6名
國學院大学	4名	関東学院大学	8名
日本女子大学	12名	共立女子大学	6名
津田塾大学	2名	桐蔭横浜大学	2名
東京女子大学	5名	産業能率大学	3名
昭和女子大学	7名	実践女子大学	5名
学習院女子大学	1名	女子美術大学	2名
芝浦工業大学	3名	湘南医療大学	1名
東京都市大学	2名	湘南工科大学	1名
日本大学	4名	神奈川工科大学	3名
東洋大学	6名	洗足学園音楽大学	1名
駒澤大学	2名	多摩大学	2名
		大妻女子大学	4名
		その他私立大学	78名

生徒会活動で興味を持った “言葉で発信する”分野へ

慶應義塾大学

環境情報学部1年
佐久間さん

やりたいことは何でもやっておこう! と、かねてから興味を持っていた生徒会に参加。文化祭など全力で活動することができました。社会への関心が高く、また生徒会では文章を書いて発信することが好きだと実感。大学では社会学、特にメディア系の事象を取り上げる学科に進みたいと考えましたが、まだ歴史が浅い分野なので専門の環境が少なくて。

考えあぐねていた新2年生の面談で、先生がさまざまな分野を横断して学べる場所として教えてくださったのが今の進学先です。興味を絞りがねている私には向いているかも、と受験しました。生徒会長として課外活動にも積極的に取り組んでいましたが、自分の学力をどこまで伸ばせるかを知らなくて総合型や学校推薦型の選抜ではなく一般選抜にチャレンジ。大学でも、何でもやっておこう! のスタンスで、経験値を高めた上で将来の道を絞るつもりです。



進路選択、 卒業生は語る

ロボットの研究をしたい! を叶えられる志望校を吟味

芝浦工業大学

工学部1年
石川さん

中学時代から部活(科学部)でロボット関連のコンテストに出場、高等部ではプログラミングや制作も始めて、「将来はロボットの研究がしたい」という気持ちは着実に育っていきました。1年生は文化祭の実行委員活動に明け暮れて過ごしながらも、機械工学科への進学を決意。2年生で本格的に志望校を検討しました。技術者育成機関が前身であった大学を候補にしたのは、実際の制作ノウハウを身につけられる実学寄りの大学へ進みたいと考えたからです。研究設備がどのくらい整っているかもオンラインの研究室訪問などで確かめながら、志望校を絞っていきました。

ロボット大会に併設されていた企業の展示会で「こういうものを作る大人になりたい!」と憧れた私としては、産学協同のプロジェクトも多いと聞く大学での勉強が楽しみです。



<https://www.sagami-wu.ac.jp/chukou>

